



2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES



写真提供: 流田麗扶会員

Rotary  倉敷南ロータリークラブ
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畷6丁目6-17

第 2889 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：晴れ No.2889/2022. 5. 27

Guest なし Visitor なし

出席 会員数 58 名（うち出席規定免除者 15 名@2 名①13 名）

5/27 の出席率 71. 43%（出席者 35 名、内①6 名）

欠席 安藤、土井、古山、井上、石本、森山、中川、沼本、大谷、齋藤、田原、
和田（一）、渡辺（英）、横田、吉住、小川、各会員（16 名）

●小田会長

- ・薫風かおる良き季節となりました。
- ・倉敷市民憲章推進協議会から当クラブ長年の貢献に対して感謝状が届きました。
- ・先週の例会は職場例会として倉敷中央病院附属医療センターで開催され 30 名の会員が参加されました。皆様お世話になりました。

●幹事報告（永井 SAA）

- ・第 2690 地区青少年交換委員会より、ロータリー青少年交換プログラム 2023-24 年度派遣学生募集の案内が届いています。他、報告 14 件
- ・先週の理事役員会報告：①退会 田原大輔会員（6/30）②次期第 7 グループガバナー補佐の関係費用について。第 7 グループ 7RC（当 RC を除く）の第 1 回例会参加費用 17,500 円及び、次年度地区ガバナー公式訪問前の各ロータリークラブのクラブ協議会出席費用 35,000 円はクラブ負担とします。③6/24 例会は定款により取りやめとなります。④例会会場変更に備え、6 月下旬から倉敷アイビースクエアに備品の移動を開始します。

●スマイル報告（永井 SAA）

- ・桐野会員：久しぶりに例会に出席させていただきました。
- ・浜崎会員：三菱自動車、水島製作所は新型の軽電機自動車を披露しました。6 月中旬以降に販売店で試乗できる予定です。価格も補助金込みで 185 万円程度です。是非試乗してみてください。

●プログラム卓話 クラブ協議会「PETS 報告、地区研修協議会報告」

■佐藤次期会長エレクトより、「PETS」報告

- ・次期 RI 会長はジェニファーE.ジョーンズ氏で、初の女性会長です。
- ・2022-23 年度国際ロータリーのテーマは'Imagine Rotary'(イマジン ロータリー) ビートルズの名曲から採用されました。
- ・地区運営方針：スローガンは「ロータリーの素晴らしさを体感しよう!」です。
 - 1) (最重点目標) 施策を工夫して会員増強する。女性会員純増 1 名。
 - 2) マイロータリーの登録率 80%以下のクラブは 10%アップを目指す。私としては 100%を目指したいと思います。
 - 3) ポリオ根絶への協力。ポリオプラスに 40 米ドル/人を寄付します。
 - 4) ロータリー財団への支援。年次基金に 170 米ドル/人を寄付します。
 - 5) 米山記念奨学金への支援。普通寄付 5,000 円/人、特別寄付 10,000 円/人。
 - 6) 地区補助金・グローバル補助金の活用。
 - 7) ロータリーカードの利用促進
 - 8) 地域社会に密着した特色ある奉仕活動を実施する。
 - 9) 2023 年国際大会への参加。メルボルン(オーストラリア)2023・5/27~31

■「地区研修協議会」での各部門別協議会報告

- ・奥山次期社会奉仕委員長；社会奉仕活動計画、地域補助金等を活用した活動、クラブの公共イメージ向上に向けての計画
- ・横道次期国際奉仕委員長：国際奉仕活動計画、海外との交流活動
- ・野口次期青少年奉仕委員長：青少年奉仕活動計画、ローターアクト等の活動
- ・石田次期幹事：コロナ禍のもとクラブの活性化（オンライン対応）、ロータリーカードの活用、米山記念奨学金の寄付、10/24 ポリオ・デー活動要請あり。

●次期地区補助金事業について（佐藤会長エレクト）

- ・美観地区で「XR アートプロジェクト」を実施します。AR（拡張現実）、MR（複合現実）などが表示されるスポットを美観地区に設置し、大原美術館等のスポットで QR コードを読み込むとカメラが場所を認識しキャラクターやオブジェを表示するというものです。そこにロータリーマークを表示し PR の一環とします。

例会プログラム予定：

2022 年 6 月 3 日(金)卓話「(クラブ協議会) 次期会員増強・R 財団合同セミナー報告」

佐藤会長エレクト、石田次期幹事

2022 年 6 月 10 日(金)卓話「高梁川流域の文化と歴史」

児島 塊太郎 様（陶芸作家、加計美術館 館長/総社 RC）